



日本3大楼門阿蘇神社の大しめ縄



おおしめなわ
一の宮大注連縄伝承会（小代勝久会長ほか21人）による、阿蘇神社の大しめ縄奉納が12月11日行われました。奉納されたのは長さ7m、重さ120kgもの立派なしめ縄で、材料はすべて地元産です。優れた技術を持つ伝承会では、その他の神社からも注文があり、毎年、大・中・小、約350本を製作されています。

保存会の方々が丹精込め作り上げた大しめ縄は、今年1年、日本3大楼門の一つ阿蘇神社の楼門を飾り、阿蘇地域の平穏を見守ります。

10月28日、阿蘇地域（阿蘇郡市及び山都町）が日本ジオパークに正式に認定され、「阿蘇カルデラ」を中心とした阿蘇地域が名実ともに全国ブランドとなりました。

これをうけ11月30日、かんぼの宿で、「阿蘇ジオパーク推進委員会」主催、認定記念シンポジウムが開催されました。

講師に、40年以上阿蘇火山を見つめてきた元京都大火山研究センター助教授であり阿蘇火山博物館学術顧問の須藤靖明氏を迎え、「ジオサイトNO.1：湯だまりその秘密とマグマ溜まり」と題した講演が行われ、草千里直下にマグマ溜まりを発見したことや、2,000近くあるといわれる世界の火山で湯だまりは、10カ所程度しか存在しないなど、火山ガスの謎の解明に挑む経過について詳しく説明がありました。

ジオパークって何？



市政モニターが「市を知る研修」



高齢化によりボランティア案内人が減り、現在お一人で務められている石嶋さん（左）

阿蘇市市政モニターの阿蘇市を知る研修が始まり、第1回目は、地域づくりをテーマに門前町の取り組みを視察した他、阿蘇神社でボランティア案内人を務める石嶋さんの活動を見学。その後、市長との意見交換を行いました。今後も世界文化遺産やバイオタウンなどについて研修し感想を述べていけます。

県内の総合型地域スポーツクラブが集合！



第4回「生涯スポーツミーティングINくまもと」が11月22日、パークドーム熊本で開催され、本市の火の山スポーツクラブも34人が参加しました。県内のクラブの促進と交流を目的に、長縄跳び、リレー、グラウンドゴルフなどの競技や総踊り・クラブ紹介などが行われました。なお、競技では火の山スポーツクラブが初参加ながら総合5位と大健闘しました。総合型地域スポーツクラブには、こうした市外の方々ともスポーツを楽しむ機会があります。ぜひ、市民の皆さん、ご加入ください。Enjoy SPORT!